

長期的・包括的なキャリア支援を目指して ～「キャリアカフェ」の取り組みから～

都留文科大学 キャリア支援センター
キャリア相談専門員
杉本かおる



全学共通専門科目「キャリア形成」



1 大学の概要

本学は1953年に教員養成を目的に設立された富士山に一番近い公立大学であり、多くの卒業生が教員として活躍している。大学通信オンライン「小規模だが評価できる大学ランキング2020（関東・甲信越編）」において本学が1位（全国でも8位）を獲得している。

学生は全国から集まり、その9割が大学周辺で生活をしており、城下町都留の地域文化に触れる機会も多く、少人数制のきめ細やかな指導や留学、ジェンダー研究プログラムなどの多様な学びを通して、グローバルな人材育成に力を入れている。

教員養成に定評のある本学だが、企業、公務員を目指す学生も増えているため、1年生から学生の希望に沿ったきめ細やかな「キャリアデザイン・就職支援プログラム」を実施している。全学共通専門科目「キャリア形成」では、将来社会で活躍する人材となるための醸成と強化を目的に各分野で活躍する外部講師を招いた講義を行っている。

2 キャリア支援センターの新しい取り組み

キャリア支援センターは、豊富な資料とインターネット環境も整備し、タイムリーな情報やプログラムを随時提供している。進路に合わせた対策講座、インターンシップや学内での合同説明

会、各種ワークショップ、内定者報告会など様々なイベントも実施、卒業生によるキャリアサポーター制度の充実も図っている。

また、近年の多様なキャリア形成に対応するべく個別面談を強化している。学年や学科にかかわらず誰もが気軽に相談し、適切な指導を受けられるよう個別相談室も設置し、民間企業出身者、元公務員予備校講師、小・中・高校の校長経験者、国家資格キャリアアドバイザーを配置し、分野別に常時個別面談を行っている。

最近の新しい取り組みとして、早期から学生との接点を作り、長期的・包括的な支援につなげることを目的とした「キャリアカフェ」を定期開催している。全学年を対象とし、予約不要で質問や相談ができる場として学食などの一角にスペースを設け、定期的にアドバイザーが常駐している。

フリーの相談だけでなく、時にはカードを使った自己分析やパーソナルカラー（似合う色）分析、ES添削会など興味性のあるテーマも取り上げている。学生との距離を縮め、早期から自分の強みや価値観、方向性について考える機会を作り、次の行動につないでいくためのキャリアのゲートキーパーの役割も担っている。

3 今後のキャリア支援について

コロナ禍で学生のおかれている環境は激変した。SNSやネットの情報に

翻弄されるなど不安を感じている学生がいる一方で、現状を前向きに捉え、オンラインを活用した資格取得や語学習得、イベント企画などに取り組む学生の話も聞くことも多い。また、採用選考のオンライン化によって交通費や移動時間がカットされたことにより、物理的制約がなくなり、様々な企業に挑戦できるチャンスも広がっている。

これらを踏まえると、学生が早い段階から長期的な視野に立つてキャリアについて考え、行動していくためにも、多くの情報に触れ、取捨選択し、納得のいく就活の実現に向けた機会を多く作っていくことが重要である。これまで築き上げてきたキャリア支援センターとしての役割や在り方を維持していくことはもちろん、学内外の連携の強化や包括的なアプローチを含め、本学ならではの強みや地域性を活かしたキャリア支援を今後も継続して行っていきたいと考えている。



カードを使用したキャリアカウンセリング